



Ferris University

2015 No.13

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

主よ、あなたのいます家 あなたの栄光の宿るところをわたしは慕います。

詩篇 26 八節

Jubilee Yearに際して

理事長 奥田 義孝



1965年に大学が開設されてから今年には50周年の記念年(Jubilee Year)になります。懸案であった大学の将来に向けてのブランドデザインが2月の理事会に報告され、今年度からその具体化が始まりました。わが国にとっては、今年は1945年8月の終戦敗戦から70年目の節目になります。大学同窓会の方々は戦後の新制教育になってからの「就学で戦前はもとより、戦中の教育も存じない」ことになりました。

少し上の世代である私は、京都の国民学校(現在の公立小学校)2年生の8月に終戦を迎えました。1年生のとき、学級担任の先生が授業で人は死んだらどこに行きますか?と生徒に問いかけ、私が指されました。クリスチャンホームに育った私が「天国です」と答えると「違います」と否定され、次の子が「お仏壇です」と答えました。これも間違い、正解は「神棚」だったので、親から教えられていたことが先生によって否定されたことは、私のトラウマになりました。今では考えられないことで

が、そういう時代だったので。

戦後になると世の中は一変し、それまで皇国思想、国家神道の旗を振っていた先生たちは「転じてマルキシズムに傾倒労働者としての権利を主張し、賃上げを要求してストライキを打ちました。私の両親は「ストをするような先生に息子は預けられない」と主張。私は他の小学校に転校することになりました。今から思えば、戦後の極貧の時代、先生たちも思想以前に生活のために必死だったのかもしれない。しかし、この時代、右寄りであった人ほど左に急戻したことは、歴史の教訓として記憶にとどめておきたいと思います。

キリスト教の信仰を「建学の精神」とし、聖書に由来する For Others を「教育理念」として掲げているフェリス女学院も、145年の歴史のなかで多くの試練を経験し克服してきました。将来に向けて、大学は特色あるフェリス独自の教養(リベラルアーツ)教育を目指そうとしています。旧制・高の校長や文部大臣を歴任した安倍能成(1883~1966)という人が、「教養とは、同意する、しないに関わらず、相手の立場が理解できることである」という言葉を残しています。今日に生きる言葉です。歴史の教訓に学ぶとともに、深い洞察力を持ち、他者への配慮の出来る人材を世に送り出す学院であり続けたいと願っています。

フェリス女学院に赴任して

学院長 鈴木 佳秀



赴任して2ヶ月が過ぎようとしています。熊本で生まれたのですが、生まれ故郷に於いての記憶がありません。転勤族の家に次男坊として生まれた私は、4、5年に一度の割合で転居を繰り返してきました。幼友達ができなかつたのはそのためです。親しくなつてもすぐにお別れという連続でした。それでも新しい場所につく越す度にわくわくした気持ちを持っていたのを覚えています。現実はいじめが待っているのですが、新しい土地での方言や食べ物、観光地がどんなところなのかを楽しみにしていたのです。機械が大好きな理系志望の子供でしたが、次男坊であったこと関係して、機械工学でなく人文学への転換を余儀なくされ、よりによって旧制聖書学に進むという道を通ってきました。

新潟大学に就職した時、これで違う土地に引越すこともなくなると思いましたが、歴史学の教員として古代オリエント史や旧約聖書の世界、古代イスラエル史を担当していました。その後、教養部から人文学部に所属が変わったのですが、転勤族の体

質は変わらなかつたと言えます。でも新潟に32年間も動かずに過ごしたことになります。多くの友人が与えられ楽しい時を持つたのですが、新発田にある大学に転職することになり、そこで全く違う業界の方々との友人になりました。そのほとんどの人が古里新発田を心から愛しているのに気が

かされたのです。当たり前のことなのですが、小学校で同じクラスだったとか、同じ高校に通つたという思い出話を宴席で聞く度に、うらやましいと感じたのは事実です。親しくしても入り込めない時の流れがそこにあるのです。人生の第四コーナーを過ぎる頃、一つ所に永住することへのあこがれが生まれていたのです。母親の反対はありましたが、定住用の住宅を購入したのはそのためです。

そうした時に、横濱のフェリス女学院からお話をいただきました。メアリー・キダー(宣教師のこと)を学んで、運命的な衝動を感じました。それは宗教的な衝動でもあり同時に人生論的な衝動でもありました。その衝動に動かされ横濱に赴任してまいりました。新しい友人が与えられるはずだという気持ちと共に、責任の大きさを感じています。教授から学部長、学長、学院長へと転身が続いた私がここにあります。For Others の理念を掲げたフェリス女学院を愛する人間として、与えられた務めを任期の最後まで全うしたいと願っております。

維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、1995年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会へは、2014年度末までに5億7000万円のご寄付が寄せられております。大学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス8号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきました。今後は、2020年の学院創立150周年に向けて、ブランドデザインに基づく校舎整備計画を検討していく予定です。

学生たちの学習環境をより豊かに整えていくために、引き続き維持協力会を通してのご支援をよろしくお願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則10口1万円とされていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ＡＴＭによる寄付も受け付けております(※詳細は学院HPをご参照ください)。継続的にご寄付をくださる方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です。ご希望の方は、担当までお問い合わせください。

学長挨拶

学長 秋岡 陽



フェリス女学院は5年後、2020年に、創立150周年を迎えます。この節目の年を見据えて、学院全体の中

長期的・総合的な将来構想である「ブランド・デザイン」が策定されました。現在、その実現に向けて、着々と改革・整備がすすまられています。大学も、2020年に向けた「大学ブランド・デザイン」を策定。学院150年の伝統を、大学においても、さらに良い形で未来に継承してまいります。

フェリス女学院は、150年の歴史を通じて、つねに新しい時代を切り拓いてきました。この学院の先進性は、日本でも最初にキリスト教女子教育を始めたことから明かです。そして、先行きの見えないこれからの時代であっても、本学は「新しい時代を切り拓く女性」を育成し続ける学校をめざします。150周年を迎えようとする今も、建学の精神に変わりはありません。創設者キダーから託された「キリスト教の信仰に基づく女子教育」を、これか

らも変わることなく推進していきます。また150年の歴史の中で醸成された教育理念「For Others」も、今後さらに具体的な活動として展開していきます。このように「建学の精神」や「教育理念」をさらに明確にすることは、少子化が一段と進むこれからの時代、他大学との差別化をはかるためにも大切です。

しかしそれだけだと「大学はこれまでとあまり変わらないのでは？」と言われるでしょう。いえ、大きく変わります。2017年度には「全学教養教育機構CLA」を設置。全学部の学生を対象とした、4年間の体系的な学びとしての、21世紀型教養教育プログラムが始まります。この新しい教育プログラムを展開するために、専用校舎も整備します（緑園2号館を改修の予定）。校舎整備に向けて、今後とも皆様のかかわりご支援をお願い申し上げます。

また、女子大ならではの教育プログラム「充実もはかります。そうしたなか、ロールモデルとしての同窓生との連携は今後ますます重要になってきます。先達から引き継いだ宝である「フェリス教育」を、より良い形で次の150年へと引き継ぐためにも、同窓会の皆様のお力添えをお願いいたします。

大学開設50周年

トークショー

今年は大開50周年ということで、合同総会の特別企画として、トークショーが行われました。進行は、今春副学長に就任されました谷知子文学部教授。パネラーは、本学名誉教授の宮坂覺前学長、辻有子音楽学部名誉教授、永田道子元国際交流学部部長のお三方でした。以下文頭では敬称略で表記。

最初の質問は「フェリスにご着任された時の印象についてでした。」

辻「山手の坂がたいへんでした。永田「学生は明るく、妹ができたような気持ちで、フェリスは私の青春でした。宮坂「猫坂がとてきれいでした。」

第二の質問は「フェリスご在職中で一番嬉しかったことについてでした。」

辻「フェリス・ホールが出来た時！永田「緑園体育館が出来たこと！谷「柿落としたのパーボールの試合を、私も観戦いたしました。永田「緑園体育館の柿落としては、国際審判をお招きし、実業団の強豪「日立佐和当時」と全日本ナンバーワンの「東海大学」とのパーボールの試合を行いました。宮坂「ゼミ生との出会いですね。」

第三の質問は「今後のフェリスに望むことでした。」

辻「伝統を守り続けて欲しい。年月の流れては重要でなく、充実した時間を過ごして成長することが大切。女子大という特性を生かし、立派な成績や仕事だけでなく、

充実した女性として家庭教育にも高い関心を持ち、人を育てて欲しいですね。さらにキリスト教主義の大学として、常に教育の中心に据えて欲しいです。永田「今まで通り、のびのびと可能性を伸ばす教育の継続。フェリスに対する愛と誇りを持つる学生の育成、小規模大学という特性を生かした教育を、ぜひフェリスのためになる山手での大学再生をお願いしたい。宮坂「伝統を守る学生の育成、女子大の矜持を持ち続けて欲しい。言葉を大切に、言葉による想像を働かせる力を持つて欲しい。」

永田「先生の「発言から、私たち同窓生も後輩たちに恥ずかしくない、フェリスへの愛と誇り」を持ち続けているか」と問われたように、思わず居住いを正しました。

先生方のお話を伺いながら、母校の素晴らしさと、いつまでも先生方がフェリスを大切に思い続けてくださっていることを再認識し、今も変わらず学びの場であり、心のオアシスでもあり続けていくことに、改めて感謝いたします。



(りてら) 羽田明美 1979)

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会後、会員の皆さまには、年に1回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上』をお送りして、寄付金使用状況報告等を差し上げます。

寄付金総額が25万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、年2回フェリス女学院広報『ALL FERIS』をお届けします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、学院から送付）。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼受領証」か「領取証」が必要となります。領取証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 045-662-4511
E-mail: hsoomu@ferris.ac.jp

●大学開設50周年お祝贈呈

3月16日(月)大学開設50周年をお祝いしてりてら・Fグループ・りべるてより50万円を秋岡学長に贈呈いたしました。

りべるて・Fグループ・りてら合同総会

2015年6月13日・カイパー記念講堂にて



第12回合同総会は、お天気に恵まれて山手カイパー講堂に約200名の出席を得て開催されました。

中高新2号館が工事中であり、石段途中の門(エンピツ門)を入っていたதாகというご不便をおかけしましたが、「学生時代を思い出したわ」という声を耳にし、ホッとしました。

礼拝は、前学長宮坂覺名誉教授、奏楽は小清水桃子さんにお願いたしました。ヨハネによる福音書第5章1節～9節を朗読され、「床を担いで歩きなさい」と題して、お話をされました。

現代社会は、ネットで大量の情報が配信され、個人にあつては、日々、いろいろなストレスを感じながら生活しています。今の状況が動かすことのできない日常と諦めて受け入れていくことに気づき、そうした日常を変えてみようとする意志と決断を持つことの大切さをお話しくださいました。

ご来賓として、奥田義孝理事長、鈴木佳秀学院長、秋岡陽学長、荒井真副学長、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、大西比呂志国際交流学部長、立



神粧子音楽学部長、田谷幸輝大学事務部長、衛藤怜子白菊会会長をお招きしました。

小澤美智子りてら会長のご挨拶の後、「大学開設50周年トークショー」を、パネラーに宮坂前学長、辻宥子元音楽学部教授、永田道子国際交流学部教授、進行を谷知子副学長にお願いし、懐かしく、かつ、貴重なお話の数々を伺い、楽しいひと時を過ごしました。

その後、音楽学部卒業生の北野有希依さん(メゾソプラノ)による独唱「私の心はあなたの声に花開く」(オペラ「サムソンとデリラ」より)をお聴きし、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場へ向かいました。

来年は6月11日(土)、山手で開催する予定です。皆さま、お誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



第26回 リバるて総会

6月13日、カイパー記念講堂において合同総会を行い、続いて家政科記念館にて谷知子副学長、円谷幸輝大学事務部長ご臨席のもと、リバるて総会を開催いたしました。

会長挨拶に続き、谷副学長より大学の現状と今後の展望を伺いました。また、円谷事務部長より、「リバるて奨学金」に対する感謝のお言葉と、学習環境を整備するため、四半世紀を迎える緑園校舎の改修の必要性と、改修事業に対する同窓生の協力をお願いしたい旨のお話を伺いました。

続いて、議事に移りました。出席者委任状合計により総会成立が報告され、2014年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、2015年度の事業計画案予算案が、それぞれ審議・承認されました。その後、2015年度役員紹介を行い、閉会しました。

懇親会では、奥田義孝理事長と、今年度よりフェリス女学院学院長に就任されました鈴木佳秀先生をお迎えしました。奥田理事長より鈴木佳秀先生をご紹介いただき、新学院長よりは「創設者キター」女史とのご縁を通してフェリスに導かれました」とのご挨拶をいただきました。出席の会員の皆さまは、学年を超え和やかに歓談され、楽しいひと時を過ごされました。

どうぞ来年も、山手・家政科記念館へお出かけください。お待ちしております。

(報告 三藤裕子・D54)



Fグループ総会

6月13日(土)、フェリスホールにてFグループ総会が開催されました。開会の挨拶では熊本会長よりFグループの名称由来の説明があり、皆様のご賛同により改めて『フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ』となりました。御来賓の奥田義孝理事長、鈴木佳秀学院長、秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、辻宥子名誉教授により、様々なお心のこもったお話を頂戴いたしました。先生方が音楽科を今も昔も変わらず大切に考えてくださっていることを同窓生皆が感じたひとときでありました。

議事では14年度会計報告、会計監査報告、15年度予算案、14年度活動報告、15年度活動予定がそれぞれ承認されました。会長選挙について、会則の改訂についての説明もあり、その後、新卒業生によるフルート、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。各支部からの御報告もいただき、大変盛り沢山な内容となりました。

総会終了後は5号館取り壊しに伴い、『5号館お別れツアー』が行われ懐かしい学び舎を見学して思い出に浸りました。本年度もコンサート、研修会、Fグループ会員の生徒さんとの合同発表会を開催予定です。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

(報告 亀山知子・35回)



りてら同窓生のついで

6月13日(土)カイパー記念講堂での合同総会の後、8号館5階アートサロンにて『りてら同窓生のついで』が開催されました。合同総会にご臨席いただきました来賓の先生方と、70名を超えるりてら会員をお迎えして、会場は華やいだ雰囲気でした。

ご来賓の先生方から、現在の母校の様子を伺い、自分たちが通っていた頃に思いを馳せました。大学のランドデザインについてのお話は、母校の更なる発展の具体的な形を想像することができ、頼もしくも思えました。

特に、永田先生の大学開設時から順を追っての体育実技の変遷についてのお話は、それぞれの時代の経験者が同席していましたので、たいへん興味深く拝聴いたしました。

同じ学び舎で過ごしたという共通の経験から、お初めての先輩後輩ともすぐに打解けられる同窓生の絆を感じ、先生方の変わらぬ温かなお言葉をうれしく拝聴し、ここで学んだことに、改めて深く感謝するひとときでもありました。来年も、皆さまお誘い合わせてご参加くださいませ。

(報告 宇佐見瑞枝・1985J)



2014年度学位授与式

同窓会では、今年、

- 文学部 319名
- 国際交流学部 236名
- 音楽学部 94名

の卒業生をお迎えすることができました。



同窓会のグッズ販売

昨年初めて行い好評でした同窓会グッズ販売を、今年も3月20日の学位授与式と、4月1日の入学式で、大学側のご配慮によりコーナーを設けていただき、皆さまにご紹介しました。

りてらは、校章入りのペン、サブバック、ファイル、アクセサリー、文具セット等を、Fグループは書籍、CD、音楽会のご案内を、リバるては、校章入りのカードケース、ファイル、エプロン、ペンケースに加え、校章入り三笠山を販売しました。

学生、保護者の皆さまには、大学が書面でご案内くださったので、多くの方々にご来場いただきました。特に、保護者の皆さまには好評でした。卒業生には、同窓会を身近に感じていただける良い機会になったのではないのでしょうか。また、入学された皆さまには、校章入りグッズで勉学に励んでいただきたいと思います。お待ちしております。



りべるて

Vol.27
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるての会員の皆さま、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

今年も会報をお届けできますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと感謝申し上げます。昨年度も、各種行事に多数の会員のみなさまにご参加いただき、ありがとうございました。久しぶりに山手にききました」と伺うと、「活動を続けていて良かった」と役員一同元気をいただき、気持ちを新たにしております。

2011年に創設してから5年目を迎えた「りべるて奨学金」は、今年も秋岡学長に贈呈させていただきました。学生が希望をもって勉学をづけられるよう、少しでもお役に立てれば・・・と思っております。その折の学長のお話では、フェリスの高等教育は、実は100年以上続いていて、1947年に短期大学家政科を開設し、現在の大

学へとつながっているそうです。大学は、キリスト教・女子教育・for othersを軸にリベラルアーツを実践していくとのお話を伺いました。同窓会としてもどのようにご協力できるか、これから検討したいと思っております。

会員名簿の管理は同窓会の大切な仕事ですが、転居や地番の変更などで住所不明となります。会報やクリスマスカード、また、総会案内などをお届けできなくなりますので、その節は、りべるて事務局までお知らせください。また、ご友人のなかでお便りが届いていない方をご存知でしたら、ぜひ、ご一報ください。

さて、昨年度も5つの教室を開催いたしました。近年、はじめて参加される方々も増えていることはとてもうれしいことです。お一人でもいらしても、やはり同窓生はすぐ仲良くなつて、「楽しかったの、また来ます」などと言っていただけですと、「これからも続けていかなければ・・・」と身の引き締まる思いがします。他の同窓会会員の参加もあります。これも、現在の4つの同窓会が、それぞれの活動を尊重しながら良好な関係を築いていることのあらわれでもあると思います。

フェリス祭参加バザーは、献品が少なくなつて参りましたが、役員が知恵を絞って、リースや小物を手作りし販売しています。喫茶コーナーでは、毎年、寮にいらした方々が集まりにぎやかに過ごされています。中島省吾先生はじめ諸先生方のお

力添えで家政科記念館を残していただいたことが、今の活動へつながっていると感謝しております。

そして毎年、同窓会のお手伝いをして下さる方をお願いしておりますが、昨年より2名の方にご参加いただいております。そして、今後の役員負担を考慮して、今年度から、行事のない月の第一木曜日を休館することに致しました。皆さまにはご不便をおかけすることもありますが、皆さまがどうぞご理解いただきたく存じます。

今回、りべるてで販売しているグッズのファイナルを同封いたしました。懐かしいカイパー記念講堂のステンドグラスを中心に取りべるてでデザインしたものです。お使いいただけましたら幸でございます。

これからも母校と同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



奨学金贈呈

2015.6.18

奨学金実績

年度	予算	前期執行額	後期執行額	残高
2011	500,000	-	400,000	100,000
2012	500,000	200,000	200,000	100,000
2013	500,000	-	200,000	300,000
2014	500,000	300,000	300,000	-100,000
2015	500,000	100,000		400,000

2015年度役員

会計監査	総務	書記	副会長	会長
浅見 治美	鈴木 初枝	遠藤 美子	小倉 由紀子	金子 和恵
D 45	D 44	D 43	D 43	D 35
D 43	D 51	D 45	D 43	D 51
D 64	D 54	D 43	D 43	D 51
D 57	D 55	D 43	D 43	D 51
D 64	D 51	D 43	D 43	D 51
D 57	D 54	D 43	D 43	D 51
D 64	D 51	D 43	D 43	D 51

ステンドグラス教室

1月28日大村先生(D41)のステンドグラス教室が開催されました。

最近、干支シリーズの作品が続いています。毎回、先生が雰囲気のある可愛らしいデザインを考えてくださいます。



そして、色々な大きさ、色あいのガラスをカットして揃えてくださいますので、それらを型紙に合わせて並べハンダゴテでつないでいきます。初めての方も時間内に素敵な作品が出来上がり、それぞれ微妙に色合いの違う、個性的な作品の仕上がりには皆さん満足され大喜びでした。



りべるの方だけでなく、りてら・Fグループの方も毎年楽しみに参加され、三同窓会の交流にもなっております。

北欧絵織物教室

楽しみにしていた矢吹恵子先生の北欧絵織物教室は、まだ寒い2月18日、家政科記念館の玄関の梅が一輪だけ開いて春を待ち侘びるような日に行われました。

ワクワクしながら先生お手作りの作品キットを開きました。色取り取りの花がこぼれ落ちそうに咲き誇るフローチが今日の作品です。まずは小さな正方形のボードに、基礎



となる黒い糸を基盤の目のように掛けて、黒糸の交差点に艶のある刺繍糸でナッツを作っていきます。華やかなナッツの他にも、綿毛のついた変わり糸、幅広のリボン、大小のビーズ、レース編みの葉っぱなどを、まるで春爛漫のお花畑のように飾っていきます。各テーブルを回りながら、披露くださる矢吹先生のお手元はとても鮮やかで、ついたま息をついてしまいました。

来年の作品は干支の中です。どの様な作品が出来上がるのか楽しみにご参加ください。

北欧絵織物(NORSK BILLEDEVEV)に魅了された若くして単身オースロへ留学された矢吹先生の凛とした様子にも惹きつけられ、その作品の一端に触れることができた今回のお教室は、たいへん意義深いものでした。美味しいサンドイッチとお紅茶を囲んでのランチも楽しく、外の寒さを忘れてしまう1日となりました。

お世話いただいたりべるの皆様、心よりお礼申し上げます。

りてら 森 由美(1983)

お料理教室

6月4日、りべるで主催のお料理教室に、友人と一緒に参加させていただきました。晴れ渡ったきれいな青空の下、家政科記念館は遠い記憶のなかのあの日のままの佇まいで、なんだかほっとするとともに、懐かしさがこみあげてまいりました。

今回は、大森、く子先生(D52)に初夏にぴったりのメニューを教えてくださいました。先輩方々さすがの手際の良さ、であつという間に素敵なカフェ空間となり、ゆったりとした和やかな雰囲気のおかげで素敵なお献立を満喫することができました。

トマトと白だしのおつゆでした。トマト素麺は、色あざやかな菜味もたくさん添えられ、会話も弾むさわやかで楽しい一品でした。夏野菜の天ぷらは、それぞれの材料にひと工夫の愛情も加え、6種類をきれいに盛り付けた大人の華やかなお皿となりました。白だしを用いた和え物2種「トマトの甘酢和え」ともやしと茄子の和え物は、さつと気軽に作れてしまうとはとても思えない、一ランク上のお味でした。そしてデザートには、はやわらかい触感にこだわった「わらびもち」に美味しい黄な粉をたっぷりつけたいただきました。どの料理も日常の食卓にはもちろんのこと、おもてなしにもぴったりなとても美味しい逸品でした。



実習室から眺める緑豊かなお庭は、優しい日差しに若葉が輝き、時折さわやかな風もそよぎ、そんななかでの作業は心もリフレッシュすることができました。日頃子どもたちに振り回される慌ただしい毎日で見失いかけていた大切なものにも気付かせていただけたような気がいたします。ありがとうございました。

(堀 美千代 D64)

ビーズ教室

毎年楽しみにする行事の一つにビーズ教室があります。

先生は小倉志保子さん(D43)です。7月2日木曜日まだ梅雨のはっきりしないお天気の中10人の方が家政科記念館にお集まり下さいました。

「コットンパールとスワロフスキーのペンダント」の作り方を教えて頂きました。はじめに、スワロフスキーのそろばん型のビーズであめ玉の様なビーズボールを編んで

いきました。ネグスを何回も行ったたり来たりして丸くなった時は、とてもうれしかったです。そして、コットンパールに菊座を付けて全部を繋げると、まるでふどうの房の様です。コットンパールを使うので、とても軽く付けごちがよいペンダントになりました。



いつも美しいビーズをみつけて来て下さりセンスの良いデザインにして丁寧に指導して下さいありがとうございます。皆、おそろいの作品を首からかけて、楽しいひとときでした。

このお教室を始めてから今年で11年目に入りました。先生のおかげで永く続けている事が出来ます。

(村本とよ子 D35)

あの頃を訪ねて 三溪園

昭和30年代の卒業生は、三溪園には建築学の授業で訪れたそうです。代表的な建物の内部に実際に入り、建築様式や欄間の透かし彫りのすばらしさに驚いたそうです。中でも一番印象に残ったのはトイレだったそうです。衛生陶器ならぬ塗り物の枠で時給できていました。床は畳敷きで、中は砂が盛ってあり、この様式なら、当時の着物でも大丈夫と思っただけです。また、3階部分は、思いのほか天井が低かったことも記憶に残っているそうです。茶道部のみなさんは、毎年、三溪園で横浜5大学茶道連盟に所属する横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学などの茶道部員とお茶会を催していたそうです。そこで、三溪園を訪ねてみました。

三溪園は、明治末から大正時代に製糸、生糸貿易で財を成した横浜の実業家原三溪(本名富太郎)が、東京湾に面した三の谷と呼ばれる谷あいの土地を利用して造り上げた53,000坪の日本庭園です。外苑と内苑の2つの庭園からなり、京都や鎌倉などから集められた17棟の歴史的建造物と、四季折々の自然が見事に調和した景観が見どころです。

正門を入ると左に大池、右に蓮池と睡蓮池があります。大池の前方遙か山の上には、室町時代に建築された京都旧燈明寺三重塔を望めます。三溪園のランドマークと言えるこの塔は、現在、関東地方では最古の木造の塔です。桜の頃や観月会ではライトアップされ、風情のある姿を楽しむことができます。

正面には大きな茅葺かやぶき屋根の鶴翔閣が山を背に、まるで全体の要のように見えてきます。明治35年、三溪が自宅として延床面積約290坪で建てたものです。三溪が美術品に深い造詣をもち、芸術家の育成にあたったことはよく知られています。そして、特に岡倉天心の要請で支援した横山大観、下山観山、前田青邨ら「三溪園グループ」は有名です。庇護を受けた芸術家は三溪園を



訪ね、時には鶴翔閣に泊り、創作を行ったそうです。ここは、近代日本文化に大きな影響を与えた場所でもあります。さらに進むと御門があります。京都東山の西方寺にあった薬医門を解体して汽車で運んだそうです。この先には、大正9年に建てられた数寄屋風建築の白雲邸という三溪の隠居所があります。晩年、来客を迎える時は、三溪が御門で待つていたそうです。

一方、臨春閣は、紀州徳川家の夏の別荘として1649年に建てられた数寄屋風書院造りが移築され、お客様のおもてなしに使われました。東の桂離宮と呼ばれ、夏の別荘建築らしく風通しの良いように、部屋の境にある欄間、まどに蓮の葉を使った設えがあります。雁行型に三屋が連なり、特に第三屋は「天菜の間」と言われ、欄間に雅楽に馴染み深い笛、笙などの本物の楽器があしらわれています。天井は貝殻を細かく潰して塗ることで、薄明かりに浮かび上がるような設えがあります。紀ノ川を見立てたようにお庭を流れる小川は、外苑と内苑を循環していて、京都の鞍馬から運んできた薄いピンク色の庭石が、雨に濡れるとしっとりとした情感を醸し出します。9月に行われる観月会には、お庭で音楽、舞踏が楽しめるそうです。秋のひと夜、三重塔に浮かぶ中秋の名月を眺め、雅楽とお酒を楽しんだ三溪たちに思いを馳せてみるのも、どこか優雅でロマンチックな時間の過ごし方も知れませぬ。ぜひ、名月を楽しみに訪ねてみては如何でしょうか？

前述の茶道部のお茶会は、この臨春閣と、織田信長の弟、有楽の作と言われる春草庵の茶室、そして三溪の思いの詰まった蓮華院の茶室で行われたそうです。三溪園は、四季の花々が絶えることなく鑑賞できます。特に、10月末からの菊花展と紅葉2月には観梅会そして春は桜が見事です。皆さまもぜひ一度訪ねてみませんか。三溪園ホームページ(<http://www.sankien.or.jp>)

りべるてバザーのご案内

11月2日(月)・3日(火祝)の両日、家政科記念館において、毎年恒例のバザーを行います。フェリスグッズ、手作り品・寄贈品等を販売いたします。フェリスマーク入り文明堂三笠山は、毎年好評です。テイルームでは、美味しいケーキとお茶を用意してお待ちしております。是非お出かけくださいませ。

献品のお願ひ

バザー当日に販売します日用雑貨品や贈答品等がございましたら、ご寄付くださいます様お願いいたします。

- 受付期間：11月1日まで 毎週木曜日
- 受付場所：家政科記念館

〒231-8651
横浜市中央区山手68
家政科同窓会りべるて宛



フェリスグッズ

- 本革ペンケース 各1,600円 (赤、青、茶、紫)
- エブロン 各2,000円 (黒、赤、茶、ピンク)
- エコバック 各500円 (黒、赤)
- クリアファイル 200円 (2枚組)

〈グッズ申し込み先〉
家政科同窓会りべるて
Tel・Fax 045(662)0750

大学生のための クリスマスリース教室

12月4日、大学学生課とともに、ひとり暮らし応援プログラムの一環としてクリスマス・リース教室を家政科記念館で開催しました。講師は、フラワー&テールデコレーターの近藤由香里さん（D51）にお願いしました。



授業を終えた学生たちは、初めて山手の家政科記念館を訪れ、短大家政科が発展改組され、現在の国際交流学部が誕生した話を興味深く聞いてくださいました。

作りが初めての学生たちは、花材を扱うのも恐る恐るでしたが、先生の説明を聞きながら、土台となるリースに、グリーンや木の実、ドライのオレンジやレモン、そして赤いバラのプリザーブドフラワーをポイントに使い、おしゃれな作品を作り上げました。同じ花材を使っていますが、それぞれが自分の感性を生かし、また工夫をしてオリジナルで素敵なリースになりました。

この場でお友達たちとなった学生たちは、お互いにリースの写真を撮ったり感想を述べ、合うなど楽しく過ごし、とても喜んでくださいました。



行事予定

～これからの教室案内～

10月1日(木)

大森先生のお菓子教室

季節感あふれる、やさしいお味の
お菓子作りをお楽しみください。

11月2・3日(月・火祝)

りべるてバザー

12月12日(土)

クリスマス礼拝

2016年

1月27日(水)

大村先生の

ステンドグラス教室

干支シリーズのサルの製作になります。どの様なサルになるのか楽しみです。

3月2日(水)

矢吹先生の北欧絵織物教室

手の込んだセンスの良い可愛らしいティッシュケースを作ります。

役員募集

りべるてのお手伝いをしていただける方を募集いたします。

*木曜日が活動日です。

*交通費(実費)を支給します。

*昼食は各自で用意いただきます。

2015年度予算 2015年3月31日

科目	金額(円)
消耗品費 (事務用) (その他)	120,000 10,000 110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費 (郵便料金) (宅急便)	940,000 930,000 10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,662,000

会長 金子和恵

会計 石井克子

池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2015年5月14日

監査 郷 佑美

浅見治美

2014年度決算報告書 (2014.4.1～2015.3.31)

科目	金額(円)
収入	
受取利息 業務費(グッズ販売、バザー)	891 408,907
寄付金の 他	0 0
小計	409,798
前年度繰越金	11,172,450
合計	11,582,248
支出	
奨学金基金 際費	500,000 166,800
交付金(バザー売上+グッズ1万円)	79,009
寄事業の 他	155,955 134
小計	901,898
次年度繰越金	10,680,350
合計	11,582,248
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,658,826
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	795,708
通常貯金(同上)	1,332,663
普通預金(横浜銀行)	372,977
定期預金(横浜銀行)	2,508,176
合計	10,680,350

2014年度運営費報告書 (2014.4.1～2015.3.31)

科目	金額(円)
収入	
基金運営費(学院より)	2,462,452
合計	2,462,452
支出	
消耗品費	2,764
旅費・交通費	396,980
通信・運搬費	883,147
印刷・製本費	805,387
報酬・手数料	2,022
会議・会合費	98,580
諸会費	114,778
渉外費	76,810
雑費	81,984
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,462,452
収入-支出	0

お知らせ

毎週木曜日に開館しております家政科記念館ですが、第1木曜日は閉館させていただきます。

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-0750

Fグループの皆様

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



夏を迎え会報をお届けする頃となりました。皆様にはお健やかに過ごすごとと存じます。

大谷前会長より引き継いだ会長の役目も2期6年目となり、今年度で任期満了

2014年度の活動および近況報告

音楽学部長 立神 粧子



昨年11月のFグループ主催「音楽学部のための募金コンサート」では、スイス在住の卒業生3名(丹手、北村、栗田各氏)が一時帰国し、名倉名誉教授と井上講師のご協力を得てピアノ・ソロと室内楽の立

となります。いつもFグループの活動にご理解とご協力をいただきまして心から感謝いたしました。

この間、東日本大震災が起り、被災された在学生のためのチャリティー・コンサートを、大学3同窓会主催で開催したのをはじめ、音楽に厳しい時代の直中にある音楽学部を応援する募金コンサートを2回開催いたしました。

いずれも、学部先生方と内外の卒業生による多彩な演奏、コンサートにお運びくださった方々、募金をしてくださった方々の大きなご協力のおかげで大成功をおさめました。ありがとうございます。

これらを通じて、フェリスを心から愛

派な演奏を聴かせてくれました。

卒業生が海外で頑張っている姿を見せてくれるのは大変に誇らしいものです。良き先輩として在校生に何よりの刺激となります。

この時のご寄付は、フェリスホールオルガンの修繕費ほかに使わせていただきます。企画してくださった大橋氏を始め、皆様の御厚意に心より御礼申し上げます。

昨年秋季には、東アジア文化都市交流事業の一環として、土屋教授率いるフラウエンコーアと、井出講師率いるフルート・カルテットが、中国と韓国を訪問演奏しました。横浜市観光局主催のイベントで、

し、フェリスで学んだことを誇りに思っている同窓生の熱い想いをひしひしと感しました。

今年3月に、初めての試みとして開催された「山手の丘合同発表会」は、小さなお子様から大人の方までがフェリスホールに集い、可愛らしく、又華やかな演奏が繰り広げられました。

会場の皆さんがパイプオルガンによるパッパの特別演奏に感動し、しびれておられることが手に取るように分かり、フェリスホールのシンボルはこのパイプオルガンなのだ、との思いを新たにいたしました。

Fグループはこれからも母校と同窓生

この関連から2015年4月に秋岡学長と土屋教授とともに林横浜市長を訪ね、横浜市との今後の協力体制を確認しました。

フラウエンコーアは学外での演奏の機会が増え、BSジャパンの「日本名曲アルバム」への出演もレギュラー化しており、日本全国にファンも増えていきます。

音楽芸術学科1年生の企画が、難関であるサントリー・レインボウ21の学生企画展に選ばれました。6月9日にはサントリーホール・ブルーローズで「戦争と音楽」闇から光へ」というタイトルでコンサートが行われました。戦争に関係のある作曲家によるピアノ曲、歌曲、室内楽

をつなぐ役目に力を尽くします。皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

Fグループ寄付のお願い

毎年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口1,000円から受け付けております。何卒よろしくお願申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行 00280-3-75184
Fグループ

(通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください)

と多様な編成です。音楽芸術学科生の企画と演奏学科生の演奏によるコラボレーションで、文学部の島村教授や国際交流学部の春木教授など多方面からもご協力いただき実現しました。

2015年度は音楽芸術学科に50名、演奏学科に36名、3年次編入生2名、大学院演奏専攻に6名、研究生2名、ディプロマ生6名の新入生を迎えました。

音楽学部の一人一人が音楽を通して真摯に自己研鑽できる環境作りに教員一同尽力いたします。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願申し上げます。

2014年度 音楽の贈り物

ジョイントコンサート
14年9月15日 フェリスホール

昨年のジョイントコンサートは9月15日にフェリスホールにて開催されました。2000名近いお客様にご来場いただき、盛会のうちに終了しました。声楽、ヴァイオリン、合唱、ピアノのプログラムでお贈りしました。

若手の出演者の方が多かったこと、19人編成の合唱もあり、非常に華やかでフェリスらしい舞台となりました。また初めての試みとして、音楽芸術学科の新卒生3名による卒業作品をホールロビーで上映しました。こちらも好評いただきました。



今年9月18日(金) 19時から山手フェリスホールにて開催します。卒業後も音楽の道を行ってられる同窓生の演奏を聴きに、足を運びただけなら幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【14年度出演者】 音羽麻紀子(60回V) 小松愛(60回Pf) 森田綾乃(62回V) 丸尾友貴(62回Pf) アンサンブルMora 堀内陽子(31回Pf) 杉江祐子(53回V) 尾藤万希子(51回Pf) 山岸梓乃(50回Pf) 【作品展示】 秋山季恵(63回) 石塚翔子(63回) 近藤琴絵(63回)

担当 小清水桃子(55回)

研修会

14年10月17日 フェリスホール

昨年の秋、久保浩名誉教授による研修会が行われました。ピアノ指導のポイント「ピアノデュオ(2台ピアノ)曲を中心に」「デモンストラーターとして、田口(久保)佐緒里さん(51回)、館野(池浦)もと子さん(51回)に出演していただきました。

モーツァルト『2台ピアノのためのソナタK・448 第1楽章』をはじめ、ラフマニノフ、ラヴェルなどの部分演奏をもとに、指導と演奏のポイントについて、ユーモアたっぷりのお話がありました。

おふたりの息の合った演奏は、先生のお言葉によって更に対話を生み、まるで生き物のように音が動きだし、音の静と動、ペダリング、溢れ出る音の数々、まるで色を重ね、塗りこんでいく油絵のようでした。学ぶことの楽しさを久しぶりに感じる事ができました。平日にも関わらず多くの方々がおいでくださり、終演後も先生とお会いするための長い列がとて印象的でした。

今年も10月17日(土)フェリスホールにて、昨年退官された岡島雅興名誉教授の作品をいろいろな形でお届けいたします。ぜひ、足をお運びくださいませ。



担当 瀧口めぐみ(43回)

音楽学部のための募金コンサート

14年11月22日 フェリスホール

スイスで活躍されている卒業生、大橋雅子さん(43回)、栗田麻子さん(52回)、井手沙耶花さん(53回)、北村まりえさん(58回)の「音楽学部のためにコンサートがしたい」という想いにより実現したこのコンサートには、名倉淑子名誉教授、音楽学部長の立神粧子先生、チェロの井上雅代先生、大橋多美子さん(20回)率いる中部支部のコーロフェリィチェにもご出演いただき、大変豪華なコンサートとなりました。

多くのお客様がいらしてくださり、音楽学部へ621,000円の寄付もすることができ、大盛況で終えることができました。

担当 中川 彩(61回)



第1回 山手の丘合同発表会

15年3月28日 フェリスホール

山手の丘に桜の咲く頃、第1回合同発表会が行われました。Fグループ会員(同窓生)の生徒さんが参加できる新しい企画の発表会は大変好評で、幼稚園生から大人まで50名以上の方々にご参加いただきました。

生徒さんの真剣な演奏はフェリスホールに清らかに美しく響き渡り、会場はご家族ご友人のお見守りで温かな雰囲気にも包まれてとても和やかでした。

特別演奏者、小清水桃子さん(55回)の荘厳で美しいパイプオルガンの調べも会場を魅了していました。

次回は来春3月26日(土)開催の予定です。ご参加ご来聴を心よりお待ちしております。

担当 米田悦子(35回)



2015年度Fグループコンサートのご案内

♪フェリスアーベント

7月10日(金) 19:00開演
フェリスホール ¥2,000

好評のうち
終了しました

【出演】 西由起子先生(本学講師) 名倉淑子先生(本学名誉教授)
立神粧子先生(本学教授) 井上雅代先生(本学講師)
落合 敦先生(本学教授) Fグループアンサンブル

♪ジョイントコンサート

9月18日(金) 19:00開演
フェリスホール ¥1,000

【出演】 ヴァイオリン 菊地 理恵(63回)
桐藤友妃子(43回) 今井田綾香(62回)
声楽 松村由美子(31回) 松壽 美佳(53回)
オルガン 千葉麻莉子(64回)

♪研修会

10月17日(土) 15:00開演
フェリスホール ¥2,000

フェリスゆかりの作品を集めて
～慈しむ心、普遍を求めて～

講師：岡島雅興先生(本学名誉教授)
第1部 ピアノ演奏：高須亜紀子(41回)
第2部 合唱：フェリスフラウエンコーア
指揮：土屋広次郎先生(本学教授)
ピアノ伴奏：漆間有紀(58回)

♪山手の丘合同発表会

2016年3月26日(土) 10:30～18:00(予定)
フェリスホール 入場無料

【出演】Fグループ会員とそのレッスン生
参加費10,000～ 参加申込9月1日より

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時～17時)
Tel&Fax: 045-681-6740
f-group@ferris.ac.jp

手塚先生の思い出



田中 みどり(21回)

先生に初めてお目にかかったのは、高校3年生の遅すぎる受験スタートの頃でした。

出だしのアウフタクトで早くも詰まってしまい、「1拍目から声を出して教えて！」それはもう厳しいご指導でした。
「とくに角、ピアノを弾きなさい。」と先生はいつも仰いました。でも、ひと度ピアノを離れると温かいお人柄で、ついつい先生を忘れてしまう程でした。
また、20年続いた「敏の会」で先生は必ず弾いてくださり、リズム・カルで情熱溢れる演奏は、私達ひとりひとりに勇気をくれました。これからも、先生の音楽に対する真摯な姿勢を良きお手本として励みたいと思います。

木村先生（歌心・愛を授けた人）



寺尾 美紀(38回)

木村圭二先生は、温かい笑顔と指揮棒で、フェリス大学内では弦楽アンサンブル、学外では東京都

教員交響楽団オーケストラ・エミール(昭和5年楽団創立)にて、年2回の定期公演を継続なさり、私は後年24年間程、助手、共演で多くを学び、感謝は尽きません。
「イ・ムジチ合奏団ではないけれど、『キムジチ合奏団』だ。貴女の音で歌ってください。」と、各奏者の個性を引き出し、弦の響きを創る喜びを授けてくださいました。
私も音楽への情熱や愛、次世代に歌い継ぎたい名曲を、ヴァイオリンや二胡で奏で続けたく存じます。



北支部

支部だより

支部長 工藤 羊子(30回)

昨年は、諸事情によりお便りも出せずじまいでしたが、今年4月に、北支部の山田なつきさんの紹介で、福島県会津若松にある「若松栄町教会」で9月27日に東日本大震災支援活動チャリティー・コンサートを北支部会員中心に行えることが決まりました。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年度も年3回の演奏会を開催しました。

前半は讚美歌に寄せて、後半はゴスペル&ジャズを中心に企画しようと考えております。みんなで歌おう！という場面も予定していますので、どうぞご都合のつかれる方は参加していただきますよう、よろしくお願いたします。



「ふれっしゅ」には蔵田先生、「秋のコンサート」には落合先生にお越しいただき、フェリスを紹介していただきましたが、演奏のみならずトークも大好評でした。ジュニアコンサートはクリスマスが定例となり、賑やかなコンサートになりました。その他、Fグループの「募金コンサート」に中部支部の「女声アンサンブル」が出演しました。フェリスホールで歌えたのは、本当に良い経験になりました。とても懐かしかったです。

関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)

関西支部からのご報告です。2014年11月には、オールフェリス総会が京都で開催され、Fグループの集まりも一緒にさせていただきました。秋の東山の懐にいだかれて、懐かしい皆さまと再会できました。

また、2015年5月22日には、京都「しよらぎん」にて、溪流を眺めながらの関西支部総会を開催し、10名の会員が集まり、なごやかに歓談して楽しいひと時を過ごすことができました。

支部の幹事は、引き続き、桐山恵子、羽栗美佳と、新たに矢内美伸とお世話させていただきましたことになりました。よろしくお願いたします。



九州・山口支部

前支部長 安波 裕子(24回)

2007年度より支部の活動は、大学の紹介と、同窓生の活動の場として演奏会を年2回、いろいろな施設への訪問演奏会を年数回、毎年行ってきました。

2009年に同窓会支部所属の合唱団、フェリス・ヴォーカルアンサンブル九州を立ち上げ、母校での演奏会参加を始め、北九州福岡、宮崎、海外では、タイ、ドイツ、イタリアでの演奏旅行も実現しました。

昨年ドイツでのカントスノプス女声合唱団との交流演奏会、ミラノの大聖堂や教会での献歌もよい経験でした。

2015年より新役員でのスタートになります。音楽の花束シリーズ(16回)、フレッシュコンサート、合同発表会など。同窓生、そして大学とのつながりを大切にしながら、フェリスの事をもっと色々な方に知っていただく活動を続けていってほしいと思います。



フェリス音楽教室

子どもたちとともに60年

創設60周年記念演奏会開催

大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

< 山手教室 >
045-212-2396

< 緑園教室 >
045-813-1070

http://www.ferrismusicinst.org

Fグループ2014年度決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)

(収入の部) (単位:円)

項目	決算額
終身会費	4,010,000
総会費	24,500
研修会費	149,000
募金コンサート(ティータム)	1,002,000
ジョイント会費	237,000
宛名シール	1,490
雑収	49,563
クリスマスコンサートグッズ販売	58,748
Fグループへの寄付	125,410
小計	12,400
前年度繰越金	5,670,111
収入の部合計	17,799,506
	7,449,617

(支出の部) (単位:円)

項目	決算額
(1) 運営費	1,460,780
会議費	1,958
印刷費	53,599
通信用件	129,177
人交際費	717,300
事務用品	35,428
備出	20,690
出張	29,100
学幹事会	14,320
特別委員	323,500
予備	45,680
準備費	0
(2) 活動費	90,028
総会関係費	2,331,742
研修会関係費	370,715
募金コンサート関係費	133,178
会報関係費	380,681
ジョイント関係費	586,150
リサイクル関係費	108,178
支度関係費	128,000
慶弔関係費	551,040
予備	73,800
備費	0
(3) 諸費	370,000
同窓会連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
(4) 積立金	1,110,000
名簿積立金	50,000
積立金	900,000
山手の丘再販積立	160,000
(5) 予備費	0
(6) 寄付金	621,319
支出合計	5,893,841
次年度繰越金	1,555,776
支出の部合計	7,449,617

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。2015年2月26日
Fグループ 会計監査 柴田 美和子 佐々木 淑子

from once a student

卒業生だより

川本 泉(43回)

私は音楽学部楽理学科を卒業後、ヤマハピアノテクニカルアカデミーでピアノの調律師になる為の訓練を受けました。訓練終了後は、ヤマハより紹介された横浜市内にある楽器店に就職し、現在も調律師として仕事をしています。



274名います。私は2013年にピアノ調律師士1級に合格いたしました。この資格を得たことを励みに、これからも頑張っていこうと思います。

プロフィール

音楽学部楽理学科卒
ヤマハピアノアカデミー卒業後
山響楽器店入社
ヤマハコンサートピアノコース終了
ピアノ調律師士 1級取得
雑誌「シヨパン」インタビュー掲載

学年幹事会

15年3月5日 6号館カフエテラス

ヤマハにはピアノ技術のレベルアップ研修制度があり、私は数年毎にこれらの研修を受けて参りました。現在は最終となるコンサートピアノコースの研修を終えています。

快晴の中、31名の幹事の皆様にお集まりいただき、14年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、15年度一般会計収支報告(案)についての報告・承認、会則改訂の承認、選挙管理委員会の立ち上げが行われました。

昨年度の諸活動について報告がありました。今回は会場が、カフエテラスへ変更となり、アットホームな雰囲気の中、開催することが出来ました。ありがとうございます。

担当 三俣貴代(51回)



選挙管理委員会のお知らせ

2016年3月に任期満了となるFグループ会長の選挙を行います。(任期は2016年4月から3年間会則に基づき選挙によって選出されます。会長の仕事は、同窓会全員の代表として母校創立の精神を尊重しつつ、会員相互の親睦と発展に尽力することにあります。自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会へご連絡くださいますようお願い申し上げます。立候補提出期限 2016年1月7日 提出先 Fグループ選挙管理委員会

委員長 永井京子(10回)
委員 関 純子(17回) 重田まゆみ(19回)
嶋村典子(25回) 原田かおり(30回)

おめでとうございます

第14回旭川「雪の降る街」音楽祭
中田喜直記念コンクール
*大賞(中田喜直賞) 前田 佳代さん(55回)
*三浦洋一賞伴奏賞菅原奈津子さん(53回)

新役員紹介

書記 桐藤友妃子 (43回)
常任 成田 紀子 (28回)
白木奈奈子 (52回)
事務局 栢之間玲子 (46回)

寄付のご報告

音楽学部のための募金コンサートより
¥621,000を音楽学部へ寄付いたしました。
Fグループ催しの際に設置の募金箱より
¥39,370を大学学生支援基金へ寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。

Fグループ事務局(木曜日10時〜17時)

住所、電話、姓など変更をお知らせください。
*慶弔(同窓生、先生)をご一報ください。
*山手6号館602教室の貸し出し、宛名ラベルの印刷、演奏会の後援を行っております。
住所〒231-8651 横浜市中区山手町68
電話・FAX(045)681-6740
Email f_group@ferris.ac.jp

Fグループのホームページ & Facebook 随時更新中!



http://f-group-hp.org/

Fグループ会報担当

米田 悦子(35回) 白波瀬早百合(36回)

りてら会員の皆さま

会長 小澤 美智子(1970)



りてら会員の皆さま、日頃よりりてらの活動をお支えくださりましてありがとうございます。

今年度555名の新会員をお迎えし、総会員数は18,309名となりました。

今年最後の3年目となり、3年前掲げさせていただきました活動目標の3項目の1つ「りてらの軌道を残す作業」の充実を計りたいと思っております。

学院は今年145周年を迎え、2020年の150周年に向け、新しいフェリスを目指し歩き始めております。

同時に大学は今年開設50周年という節目の年でもあります。学院・大学と共にある同窓会の歴史を記録に留める作業が必要であると考えておりました。先輩諸姉が築いて下さった同窓会の資料も乏しい状況ですが、紐解いてみますとそこには本来あるべき同窓会の姿が見えてくるように思われます。同窓会は母校と同窓生を結ぶ架け橋となること、年代を超えた同窓生の親睦の場となること、そして何より母校の発展を願い支援させていただくこと、そのような会でありたいと願っております。軌道を残すことはその証となります。皆さま、どうぞ同窓会にまつわる

情報や写真・資料等をお寄せください。またようお願い申し上げます。

りてらの活動は、りてらの運営だけではなく、Fグループさん、りべるでさんと共に「大学同窓会」を組織運営しております。会報の発行・合同総会の開催を主としており、フェリス白菊さんを加えた「中・高大学同窓会」の四同窓会での組織運営では、毎年12月にクリスマス礼拝を守っております。

今年度の総会(6月13日)は、大学開設50周年という記念すべき年に相応しく、大学の多大なご協力により皆さまには特別プログラムをお楽しみいただくことができました。宮坂覚先生・辻宥子先生・永田道子先生各名教授をゲストにお迎えし、副学長には進行役をお願いしてのトークショーを企画させていただきました。在任当時の山手キャンパスの思い出やエピソード、今後のフェリスに望むことなども楽しく、限られた時間ではございましたが、先生方のフェリスに対する熱い想いが伝わる素晴らしいひとときでございました。感謝申し上げます。

最後に、皆さまの住所管理は大学から委託を受け、同窓会が一括管理しております。大学からの情報はじめ、総会のお知らせ、会報、クリスマスカード等が皆さまのお手元に届きますように、転居の際にはホームページやFAXにて同窓会室まで変更届をお出しください。また、同窓会費未納の方は是非同窓会室までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

国文学会の活動

文学部副手 角屋 瑞佳(2011)

日本語日本文学科の活動として「国文学会」の運営があります。毎年外部から先生をお招きして開催する講演会、年2回学会会報の作成、日本文学に縁のある地へ文学散歩、歌舞伎やミュージカルを観に行く観劇会などの様々な行事を行っております。

そして、その企画・運営の主役は日本語日本文科の学生です。「国文学会」の運営側に立つ学生を「役員」とし、役員の学生に色々なお仕事を携わってもらっています。例えば2013年度の文学散歩では学生達で散歩コースを企画・提案し、先生方と共に森鷗外記念館・湯島天神付近を巡りました。2014年度の観劇会では、演目を学生自身で決め、実際に劇団四季の営業の方にお越し頂き、打

国際交流学会の活動

国際交流学部副手 湯田 紘子(2012)

国際交流学会では学会役員が中心となり、学生に関心のあるテーマに沿った講演会の企画・運営を年に2回行っています。ミーティングでは、学年問わず様々な意見を出し合い、最近では講演会だけでなく学生企画による活動が盛んに行われるようになりました。

2014年度は横浜市長林文子氏による講演会と合わせて、大西比呂志先生「横浜学のゼミ」や企業とコラボレーションした「横浜お土産スイーツ試食審査会」を開催致しました。学生による各お土産のプレゼンテーションの後、約250名の学生が試食・審査を行い、フェリス生が見て・食べて、選んだ横浜のお土産ベスト5を決定致しました。また、初の試みとなる国際交流学会会報

ち合わせを行いました。2015年度には会報とはまた別に、広報のためのリーフレットも学会役員たちで作成致しました。



その他、講演会など様々な活躍の場があり、時には困難な壁に直面する時もありますが、役員全員が一丸となつて解決に向かう姿を見ると、とても頼もしいと感じます。

行事を終えた後には懇親会を行うこともありますが、そこで晴れやかな充実感に満ちた学生の顔を見ることが、一つの楽しみとなっております。

キャンパスだより 第2回 学会の活動

「Brilliant」も発行致しました。記事の編集には役員も苦戦しておりましたが、先生や学部生のインタビュー満載の読み応えがある創刊号が完成致しました。1つの声から始まった企画が実際に冊子となつて、学内の至るところで読まれているのを見かけると、役員の方々の成果が伺えます。今後も学生発信による企画を応援していきたいです。

学会会報「Brilliant」は国際交流学部共同研究室にて配布しておりますので、お立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



フェリスと横浜

国際交流学部長

大西 比呂志



同窓会の皆様、こんにちは。今年度新しく学部長となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私の専門は政治学・政治史というのですが、大学では日本近現代史と横浜学を担当しています。ペリー来航に始まる日本の対外関係の中で、横浜が果たしてきた意義は改めて論じるまでもありません。そしてフェリスの150年になろうとする歴史はこの横浜と切っても切れない関係にあります。

横浜学ではそうした横浜とフェリスの歴史と現在、魅力と課題について総論と実習の両面から教えています。学生の横浜への関心は高く公認団体にボランティアガイドのグループもあります。横浜という切り口は国際交流のほか、まちづくり、環境や福祉、観光ファッション、映画や音楽といった様々な分野を通じて、フェリスが立地するこの「資源」を活かさない手はありません。

特に最近では横浜市の観光コンベンションビューローや文化観光局、元町SS会、JTB、神奈川タクシー協会などに声をかけていただき、ゼミや学生団体と一緒に女子学生の目線から横浜を活性化しようという地域連携の活動を行っています。昨年、横浜の認定お土産グッズ「横濱001」のスイーツ部門にフェリス女学院大学賞が創設され

たのはその成果のひとつでした。

こうした活動をしながら感じることは、フェリスがいかに横浜に愛されているかということ。右の「フェリス女学院大学賞のオファーがあったとき、私は市の担当者に「応、フェリスで良いのですか?」と尋ねました。横浜市内には20の国公私立の大学があるからです。すると「ぜひフェリスにお願いしたい」との答えでした。それはこの認定グッズのコンセプトが「多くの人たちに喜んでもらう」で「フェリスのモットー『For Others』」一致し、そして何よりも横浜の女子大生といえればフェリスだからでした。

私は現在フェリス女学院150年史の編集にも関わっています。その調査のために国内外のあちこちに出かけていて、最近ではアメリカのアイオワ州とアーカンソー州の小さな町で資料を集めました。そこでは横浜のフェリスから来たということだけで大変な歓迎を受け、様々なサポートをしてもらいました。またアメリカの行く先々で「Yokohama」とそのミッションスクール「Forts」というのは話が弾む通りの良いトピックで、私はおかげでずいぶん得をさせてもらっています。

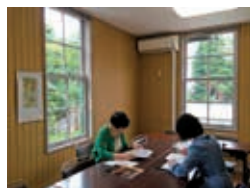
フェリスとフェリスの学生は横浜に愛されている、そのことに自信を持ち伝統に裏付けられたその看板を将来にうんと活かして欲しいと願っています。微力ですが学生とともにフェリスの魅力発信に精一杯取り組んで参りますので、同窓会の皆様にはどうかよろしくご支援のほどをお願い申し上げます。

同窓会室より

*山手同窓会室開室のお知らせ

一昨年、横浜市認定歴史建造物に指定された「山手6号館第一別館」の修復工事が、昨年5月に終了いたしました。外見の復元や土台の改修がなされ、きれいになったその2階に「りてら山手同窓会室」が開室いたしました。役員・事務員は常駐しておりませんが、備品などを整えて、打合せや作業に使わせていただいております。

1階のカフェテラスも昨年より再開しております。学事に合わせての営業ですが、カフェテラスは同窓生もご利用いただけます。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



*りてらオリジナルグッズ
ご好評をいただいておりますりてらオリジナルグッズに新商品が登場いたしました。三

色揃ったポケットファイ

ル、スマホに便利なタッチペンの他にもいろいろございます。是非一度HPをご覧ください。

2014年度は、11月2日・3日に行われた大



ポケットファイル

式、今年度に入りましては、4月1日入学式6月20日奨学会総会にて販売の機会をいただき、学生やそのご家族の皆さまに喜んでいただきました。大学と同窓会との交流を深めるためにも有意義な活動となっております。

今年度の大学祭は、10月31日(土)・11月1日(日)に行われます。新商品もご用意しておりますので、皆さまで緑園キャンパスまでお越しください。



タッチペン(10.5cm)

りてら2014年度決算報告

(2014年4月1日~2015年3月31日)

●収入の部(円)

科目	決算
終身会費	4,440,000
預金利息	15,512
雑収入	15,000
収入小計	4,470,512
前年度繰越金	56,113,815
収入合計	60,584,327

●支出の部(円)

科目	決算
総会費	972,659
会報費	2,710,911
クリスマスカード費	898,298
企画費	46,820
会議費	158,557
卒業・入学関連費	666,240
大学祭費	9,426
大寄附金	1,000,000
新就職課支援	300,000
交際費	47,160
会費	70,000
会費	997,130
交通費	215,220
通信費	237,656
パソコン関連費	59,881
ホームページ関連費	142,357
リース費	69,300
印刷費	29,862
事務用品	63,154
手数料	3,698
備品	68,761
雑費	10,545
予備	166,800
支出合計	8,944,435
次年度繰越金	51,639,892
合計	60,584,327

同窓生だより

専業主婦からプロの道へ

齊藤 美穂(1969E)



食べるのが大好きな両親のお陰で味覚の鋭い子供の頃から美味しいものを口にする機会に恵まれた環境でした。父は外で美食に出会うと必ずその店に母を誘い、食卓には母の記憶した味が並ぶという具合でしたから料理や菓子に興味を持ったのは、両親の影響だったのかもしれない。結婚した夫の赴任先はパリ、フランス料理を学びましたが、次の赴任先のメキシコで私の人生にとって大きな運命の扉が開きました。1989年の8月念願かなってジョエル・ロブション氏オーナーのバリ三ツ星レストランの厨房でスタージュ出来ることになったのです。スタージュとは短期間の研修のことで、その店の厨房で技術を勉強する事が出来る仕組みです。私は料理人ではありませんが、これを皮きりにバリ五ツ星ホテル、ミラノ、バルセロナの三ツ星レストラン、シヨコトラウリ、パティスリーなど各地の様々な、ほぼ20ヶ所の店でスタージュする機会に恵まれました。ここ迄読まれた方はレストラン開業目的?と思われたかも知れませんが全くそうではなく純粋

に美味しいものが食べたい、作ってみたいという趣味というか、あくまで私のライフワークとしての活動でした。日本に帰国してからは婦人雑誌で連載や特集ページで料理、菓子を紹介。NHKの「きょうの料理」などにも出演する傍らフランスへ短期の修行にも行き続け料理仲間と年令や国籍を越えて料理談義をするのが何よりの楽しみとなりました。そうこうしている内に出版社から料理本の依頼を受けフランス料理に始まり次にチヨコレート本を続けて3冊出版したところで企業からお話を頂き57才で起業、芝公園にあるセレスティンホテル内にチヨコレートショップを持つに至りました。今年で12年目になります。

2010年にはテレビ朝日より情報番組の出演依頼を受け以来レギュラー出演しております。レストランやコンビニのメニュー開発や商品開発、デパートの催事など。講演では遠くは札幌や愛媛、淡路島、中国の杭州迄行きました。又サントリーの伊右衛門のCMにも起用されました。フェリスでの4年間をのほほんと過ごし卒業の翌年に結婚して専業主婦になった私が、まさかこのような展開になるとは誰が想像したでしょうか。情熱を持ってコツコツ活動を続けていると必ず誰か見ていていつかブレイクの機会に出会う。決して才能や努力ではなく生涯やり続けられる好きな事を見つけたことが今ある私だと思います。

小さな旅くらぶ

2014年度ご報告

9月27日(土)、
はとバス観光
「帝国ホテルと
東京湾クルーズ
コース」に参加
いたしました。
晴天に恵まれ、
快適なバスター
アーのスタート
です。私が楽しみにしていた帝国ホテルのランチバイキングは、前菜、メイン、デザート全てが品数豊富で、皆様との会話を満喫しつつお料理調達にせつせと足を運び、その美味しさを堪能いたしました。



バス車中にては、銀座、浅草、スカイツリーを巡り、ガイドさんの説明を聞きながらの楽しいひととき。そして、東京タワー展望台に上って、大都会を見下ろし、記念品購入。

東京湾クルーズでは、ゆったりと優雅なティータイム。デッキでは気分爽快でした。ワンランク上の小さな旅をありがとうございました。

寺田 孝子(1977J)

2015年度お知らせ

今年、9月15日(火)に、江戸東京博物館を中心にしたコースを計画中です。詳細につきましては、同窓会室にお問い合わせください。秋の一日をご一緒に楽しみましょう!

クリスマス礼拝と

りてら茶話会のお誘い

今年度のクリスマス礼拝は、12月12日(土)11時より行われます。どうぞ皆さまご参加ください。

また礼拝後、カフェテラス(山手6号館別館)にて「りてらクリスマス茶話会」を計画しております。元町周辺が混み合う時期でもありますので、りてらが軽食をご用意いたします(参加費・千円)ので、ゆつくりおくるぎください。冬季デコレーションを施された西洋館めぐりなども楽しませてはいかがでしょうか。

詳細・お申し込みにつきましては、HPとクリスマスカードにてお知らせする予定です。

大学開設50周年祝金贈呈

6月13日(土)、りてら同窓生のつどいにて、大学開設50周年祝金の贈呈が行われました。大学の備品購入に役立てていただくよう、りてらから大学へ金百万円が贈られます。小澤会長から秋岡学長へ目録が手渡されると、たくさんのりてら同窓生の皆さまから大きな拍手をいただきました。



りてらアーカイブ 10

今回は、文学部国文学科(当時)で教鞭をとられた堀切実先生です
ご退職後の精力的なご活躍や、読書のお勧めもいただきました

「すぐれた卒業論文との 出会い」

堀切 実

フェリスでの七年間を振り返って、今一番記憶に残ることは、ゼミでの学習の充実感、そして高いレベルの卒業論文とたくさん出会ったことです。手元にある『玉藻』の二、三冊を眺めても、久野孝子さんの『蕉風連句における人物像』、香取庸子さんの「香



『新芭蕉俳句大全』(明治書院)刊行(昨年10月)
打ち上げの会の堀切先生(左から二番目)

川景樹論』鈴木郁子さんの「大隈言道の歌論」、佐竹秀子さんの「甘泉堂・和泉屋市兵衛について」など、学会のレベルに十分達したものでした。香取さんの論文は『近世文学辞典』などにとり上げられましたし、佐竹さんの論文は、当時、全国大学国語国文学会刊『文学・語学』の「学界時評」で異例のことですが、二十行にもわたって紹介され、「これが学部卒論とは？」と激賞されました。さらに久野さんの論考は、ずっと後になって、平成十六年に刊行された『日本文学研究大成・芭蕉』(雲英末雄他編、国書刊行会)に、昭和五十年以降三十年間に発表された芭蕉に関する代表的論文二十五篇の一つとして、第一線の研究者と肩を並べて掲載されています。巻末の執筆者紹介では唯ひとり肩書きがない人なのです。このほかにも、『役者論語』について『玉藻』に書いた田口章子さんは、近世演劇の研究者として多数の著書を世に送り、京都造形芸術大学の教授としてずっと活躍しています。

フェリス在職時代「海外旅行は？」と問われると、「伊豆の大島と答えていたわたしでしたが、平成六年秋、メリーランド大学で開催された『芭蕉生誕三百五十年記念、アメリカ東アジア学会大会』で基調講演をしてから、一転して海外好きになりました。親交のあったハルオ・シラネ教授のいるコロンビア大学や教え子の俳人マブソン青眼君の母校のバリ第七大学には何度か出かけました。講演はほとんど同時通訳で行われました。仕事以外でもヨーロッパ諸国には観光旅行を重ねるようになりました。つい昨年もチェコやハンガリーの旅を楽しんできたところでした。そうした国際的、また学際的な視野の広がりもあって、糸川先生が役員をされていた東方学会の国際会議に参加させてもらったことがありますし、やはりかつて同僚であった日本語学の小池清治先生と雑誌『江戸文学』の特集「江戸の文体」を共編したこともありました。

今から十一年前、早稲田大学を定年退職したときは、リーガロイヤルホテルで、わたしの生き方には全くふさわしくない盛大な古稀祝賀会を開いてもらい、フェリスの卒業生にも大勢参加してもらいました。定年後は、気楽な毎日をと思っていたのですが、生涯涯現役をモットーとされた学界の大先輩に激励を受け、これも一転して、「芭蕉から現代俳句へ」という研究テーマに精進することになりました。緑園台でのカルチャー講義にも、二年間出かけましたし、現在も、早大エクステンションセンターで「おくのほそ道を楽しむ」『江戸の名作を読む』のタイトルで、春秋は週二日出講しています。執筆活動の方も、むしろ定年になってから集中してできるようになり、十年前の『芭蕉と俳諧史の展開』(ベリカ出版社)、一昨年の『最短詩型表現史の構想』(俳句から俳句へ)(岩波書店)とこつた論文集を中心に、ほぼ一年一冊のペースで本も出版してきました。同窓会の皆さんにも手に取っていただきやすいものとしては、岩波文庫『芭蕉俳文集』『鶉衣』、角川ソフィア文庫『日本永代蔵』があります。昨年は全く異なる分野ですが、『金子みすゞ再発見―新しい詩人像を求めて』(勉誠出版)と題する本を地元下関在住のみすゞ研究家と共著で出しました。

けれども、じつは昨年傘寿を迎えてからは、味覚障害など体調は急速に悪くなってしまいました。生来神経質なので、電車の中で居眠りすることなど考えられなかったのが、そうではなくなりました。歩くことだけは日課にしていますが、距離や速度が変わりました。学生時代から六十年間続けてきた屋外のラグビー観戦は、かなり回数が減りました。ただ、屋内での催しには積極的に出かけています。わたしと同じ東京の下町生まれのご当地ソングの女王水森かおりのコンサートや、ファンクラブにも入っている中島みゆきの「夜会」などが楽しみになっています。

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時〜16時
(大学の春・夏・冬長期休暇中は閉室)
住所 〒245-8650
横浜市泉区緑園4-5-3

フェリス女学院大学内
電話 045812-86692
FAX 045814-89966
URL <http://littera.gr.jp>
Eメール info@littera.gr.jp

同窓会支部だより

東京支部

昨年の東京支部の活動をご紹介します。10月2日に浜松町東京會館で開かれた総会には中高事務室長、川本淑子氏をお迎えし、新しい姿に変わりつつある山手校舎、昨夏完成した中高新体育館の説明等を伺いました。教育の現場は私達が過ごした古き良き時代から機能的なハイテクの時代へと大きく変化していることを痛感しました。議事後は高層からの見事な眺望の中での和やかな昼食。

午後は、スペインのチェリスト、ハビエル・ロメロ氏、ロンドンのピアノリスト、三浦永美子氏をお迎えしてのデュオコンサートでした。若々しいお2人の奏でる濃厚なチェロの響きと流麗なピアノの音色に酔いしれたひとときでした。解り易い説明も間に入れて下さり、アンコールには何と私達の校歌を！本当に感動的な演奏会でした。

11月12日、読書会では宮坂先生が米ホープカレッジ訪問のお話を、1月21日の初春歌舞伎観劇（国立劇場）、3月31日のお花見、大人の遠足と名付けての散策など、同窓会の垣根を越えて楽しく集まっておりますので、お気軽にご参加ください。今年の総会は10月8日（木）に、国際交流学部教授、矢野久美子先生をお迎えして開催します。皆様のご出席をお待ちしております。



支部長 多賀 礼子

関西支部

関西支部同窓会総会は、オールフェリスで毎年11月の第2水曜日に、京都、大阪、神戸と巡りながら開催しています。

昨年は、京都東山、八坂の塔に隣接する日本画家、竹内栖鳳の邸跡で、古都の風情と会食を楽しみました。

関西支部も年々会員数が増え、総会案内費がかさんできました。幹事さんのご苦労も多くなりました。90年近く続いてきた関西支部を存続していくためにもシンプルな運営を模索中です。方向としては、個人宛の総会案内はがきは希望者のみとして、他の方々には、この同窓会会報の支部だよりやホームページで総会案内をご確認いただく、ということになるかと思えます。どうぞよろしくご協力お願いします。

今年度、幹事さんが交代し、加納さん、高安さん、葛谷さんがお世話くださいます。今秋の会場もガラリと趣が変わり、大阪駅を眺めながらのタイ料理です。たくさんの方々とお会いできますことを楽しみにしております。

ちなみに、今年度の関西支部総会の案内を付記しておきます。

支部長 磯野 和美

関西支部同窓会総会のご案内

日時 11月11日(水) 11時30分

場所 KOH SAMUI BY CHEDILUANG

(コサムイバイチェディルアング)

JR大阪駅桜橋口より徒歩2分

申し込み先 tshimiz@kyoto.zag.ne.jp

西南支部

5月30日 副学長 国際交流学部教授 荒井真先生をお迎えし西南支部同窓会総会を開催いたしました。会場はお天気が良ければ見晴らしの良い福岡市の大濠公園のレストランですが、雨模様となりました。それでも会場内は和やかなひと時となりました。

荒井先生には礼拝、ご講演をお願いいたしました。礼拝のお話は「アンチエイジングをどう思いますか?」。見せかけのアンチエイジングではなく年を重ねることの意味をヨエル書3章1節の聖句とともにお話して頂きました。大学のこれからに向けてのお話は、遠く九州より、また卒業から相当の年月を経ていますから、皆さんどのようにイメージなさったでしょうか。

ご講演は「なぜアメリカは訴訟社会なのか?」。アメリカと日本を比較しながらわかりやすくご講演して頂きました。残念ながら国際交流学部の同窓生の出席者はありませんでしたが、多くの同窓生はとても真剣に拝聴いたしました。

同窓会には毎回出席して下さる方々の中には、山口、鹿児島、熊本と遠方からも、また、今回初めての方もいらっしゃいました。時の流れとともに私たちを取り巻く状況も変わってまいります。皆様の心穏やかな日々を願いつつ、次回も1人でも多くの方にお集まり頂けますようお願いいたします。

支部長 菊竹 美枝

フェリス白菊会より

主のみ名を賛美します。

厳しい社会情勢の中、創立150年に向け歩みを進める母校にとつて、学院応援団としての同窓会の働きはとても大きなものになってきています。中高2期工事は大詰めをむかえ、昨夏、新体育館完成、この6月には新2号館の完成引き渡しを受け、残るは1号館改修と中庭の整備となつています。おかげさまで、フェリス白菊会の新同窓会室は2号館の中に用意されました。9月のお披露目にむけ、内部の設備の整備にかかっています。工事中はご迷惑をおかけしましたが、皆さまのご協力によって、同窓会行事、サークル活動を無事に続けることができました。ありがとうございます。秋からは新しい同窓会室を使って活動出来ることとなります。今まで通りの行事を予定しております。ぜひ皆さまもお出かけください。

工事期間中の長い間のご協力に感謝します。これからも変わらぬお交わりを願いつつ、学院の中で、同窓会としての働きが全う出来るようにお互いの連携を強めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



フェリス白菊会 会長 衛藤 怜子

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya (1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2014年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2014年4月1日～2015年3月31日) (単位円)

前年度繰越金 (2014年4月1日)		1,174,506
収入	同窓会連絡会 維持費	280,000
	白菊会、りてら、りべるて、Fグループ	
	各@ ¥70,000×4	
	利息 2014年8月16日	
利息 2015年2月21日	114	
小計		280,210
収入合計		1,454,716

支出	支部総会お祝い金	60,000	
	西南支部、東京、関西支部 各@ ¥20,000×3		
	送料		1,054
	雑費 (お祝い金封)		42
	クリスマス礼拝経費 (含 振込手数料)		79,235
大塚前学院長お礼		13,935	
支出合計		154,266	

次年度繰越金 ¥1,300,450

以上の通りご報告いたします。

2015年4月1日 りべるて会計 小倉由紀子

クリスマス礼拝のご案内



《日時》

2015年12月12日(土)
午前11:00から

《場所》

カイパー記念講堂

《説教者》

学院長 鈴木 佳秀 先生

クリスマス礼拝(2014年) 献金先

献金総額 254,424円プラス5¢

- 日本ユニセフ協会 63,606円
- 日本キリスト教海外医療協力会 63,606円
- 難民を助ける会 63,606円
- 社会福祉法人日本医療伝道会 63,606円

大学事務部より

学生を支援する事務部の仕事についてご紹介いたします。今回は大学の入口と出口を担う部署として、入試課と就職課に伺いました。

「入試課」というと、「入学試験の実施を担当している部門」というイメージがあることと思います。しかし、近年は、大学の「営業部門」として、受験生や保護者、高等学校を対象とした「入学案内」の発行、オープンキャンパスの開催、学外で行われる進学相談会への参加などの入試広報活動にも大きなウェイトを置いています。

オープンキャンパスは、7月、8月を中心に年間5回行っています。先生方による学部・学科の紹介や授業体験、在学生によるキャンパスツアー、個別相談など、多彩なプログラムを通して受験生により深くフェリスを知ってもらう機会としていきます。また、全国各地で行われる進学相談会には入試課スタッフが向き、横浜のキャンパスまで足を運ぶことのできない受験生や高等学校の先生方に直接お会いし、進学相談に応じています。進学相談会等で各地を訪れる際に、思いがけずフェリスの卒業生のみなさまにお会いすることもあります。小さな大学であるにもかかわらず、多くの卒業生が全国各地で活躍されていることに驚くとともに、フェリスは社会に広く貢献する卒業生をこんなに多く輩出している大学なのだと思ふと、心強く思います。卒業生のみなさまのご活躍は、受験生のみならず保護者や高等学校まで広く影響のある貴重な大学の活力です。今後もフェリス女学院大学への強力なご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(入試課)

国の要請により、2016年3月卒業・修了予定者から、就職活動の時期が大きく変わりました。これまでよりも企業の広報活動が3か月、採用選考活動が4か月ほど後ろ倒しになり、今年度は採用側の企業も就職指導を行う大学も、試行錯誤する年となりました。

もちろん変更により対応策を考えなければならぬ面も多々ありますが、個人の働き方や生き方を考える上での「キャリア教育」という面においては、本質的には大きく変わりはないと考えています。そのため、内定を得るための小手先のスキル向上ではなく、「キャリア形成支援」をより一層厚くしていきます。近年は、低学年向けの体験型キャリア教育をこれまで以上に充実させています。

例えば、昨年度は学生自身が新聞記事を作成する「新聞記者体験講座」を行いました。この講座では学生たちが模擬の記者会見や事件の取材、そして記事作成に取り組みます。模擬とはいえ内容は実践的であり、模擬取材では講師の方が様々な役割を演じリアルな取材現場を再現しました。また、企業の方による本物のプレスリリースを元にした記者会見を行い、記事は新聞社の方に指導して頂きました。

このような体験により、学生は社会が必要となる力を学び、本学での学習や活動が社会でどのように役立つのかを知る契機となります。その時々就職環境にいたらずに流されるのではなく、キャリア教育の「本質的な部分」を大切にしながら、学生をサポートしております。

(就職課)

思い出の学び舎

フェリス女学院4号館と5号館は老朽化のため、今年で歴史の幕を閉じることになりました。

4号館は昭和27年に音楽科校舎として落成しました。当初から木造2階建ての全8室にはピアノが置かれていました。



18年余は短大音楽科として、その後は練習室、山手音楽教室（フェリス音楽教室）として、永年愛され使われてきた学び舎でした。

5号館は昭和45年創立100周年に落成しました。鉄筋コンクリート4階建て冷暖房完備、4階には200名入るホールがあり設備の整った校舎でした。



音楽学部は一昨年8号館に移転し、4号館、5号館は新たに緑化や開放スペースとして生まれ変わります。

学び舎での楽しい思い出とフェリスの伝統が、皆様の御心の中で永遠に輝き続けますようにお祈り申し上げます。

2015年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆10月13日(火)『Ferris Concert vol.61 フェリス・音楽の花束「音芸ピアノナイト145(仮称)」』
19:00開演/一般¥1,000 神奈川県民ホール 小ホール
【出演】音楽学部教員
- ◆11月3日(火・祝)『室内楽の夕べ』
開演時間未定 入場無料/フェリスホール
【出演】学内オーディション合格者
- ◆11月23日(月・祝)『オーケストラ協演の夕べ』
19:00開演/入場無料 フェリスホール
【出演】ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:鷹羽弘晃
オーケストラ:フェリス室内管弦楽団
- ◆12月4日(金)『フェリス管弦アンサンブル定期演奏会』
19:00開演/入場無料 フェリスホール
【出演】フェリス管弦アンサンブル
ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:飯吉高
- ◆12月23日(水・祝)『クリスマスコンサート』
詳細未定 フェリスホール
- ◆2016年3月15日(火)『卒業記念演奏会』
詳細未定 フェリスホール

【お問合せ】音楽学部演奏委員会
TEL: 045-681-5189(平日10:00~17:00)
E-mail: concert_office@ferris.ac.jp 大学公式HP <http://www.ferris.ac.jp/>
音楽学部演奏会facebook <https://www.facebook.com/FerrisConcert>

Fグループコンサートのお知らせ

- ◆9月18日(金)ジョイントコンサート
ピアノ、声楽、ヴァイオリン、オルガンによるコンサート
フェリスホール 19:00開演 ¥1,000
- ◆10月17日(土)研修会
フェリスゆかりの作品を集めて～慈しむ心、普遍を求めて～
講師:岡島雅興先生(本学名誉教授)
第1部 ピアノ演奏:高須亜紀子
第2部 合唱:フェリスフラウエンコーア
指揮:土屋広次郎先生(本学教授)ピアノ伴奏:漆間有紀
フェリスホール 15:00開演 ¥2,000
- ◆3月26日(土)山手の丘合同発表会
Fグループ会員と会員のレッスン生による発表会
フェリスホール 10:30開演予定 入場無料

お問い合わせ: Fグループ事務局 Tel & Fax: 045-681-6740

永眠者(お届けのあった方)

成瀬 武史先生	2014.12.13
木村 圭二先生	2014.12.15
手塚 敏子先生	2015.3.31
米山 文明先生	2015.3.31
武藤 悦子姉(D36)	2013.5.19
西山 才見姉(D59)	2014.5.31
童野 広美姉(D57)	2014.5.31
久保田早苗姉(D40)	2014.8.31
飯田 財子姉(D40)	2014.8.31
飯田 谷佳子姉(D36)	2014.8.31
新川 愛子姉(D44)	2014.9.3
河合 恵子姉(D47)	2014.10.3
笠野 昭子姉(D25)	2014.11.17
後藤 秀子姉(D34)	2015.1.23
伊達 敏子姉(D40)	2015.5.16
りてら	
伊豫田七々子姉(D49E)	2005.10.19
富田千恵子姉(D59E)	2004.7.3
井上 澄子姉(D59E)	2004.9.7
森本和加子姉(D57E)	2004.10.14
河原千代子姉(D59E)	2004.10.14
相山キミ江姉(D59E)	2005.1.1
石神 妙子姉(D59E)	2005.5.27
渡辺 裕子姉(D59E)	2005.5.13
小方 典子姉(D54E)	2005.5.16
中野 紘子姉(D59E)	2005.6.17

天来の慰めをお祈りいたします。

大学祭

FERRIS FESTIVAL 2015

●テーマ

『Whole Heart』〜真心こめて〜

開催日時: 10月31日(日)、11月1日(月)

(両日とも11時~17時)

開催場所: 緑園キャンパス

資料室からのお願い

●フェリス女学院150年史資料集◆第3集◆「RCA伝道局報告書にみるフェリス」が発行されました。ご希望の方は資料室までご連絡ください。

●短期大学・大学の歴史や学生生活に関わる資料を収集しています。どんなものでも結構です。是非ご寄贈ください。

●フェリス女学院資料室

電話: 045-662-4411

mail: shiryu@ferris.ac.jp

編集後記

今年も無事会報をお届け出来ますことを感謝いたします。

目まぐるしく変わって行く昨今ですが、学生時代をふり返り、なつかしんで読んでいただけましたら、嬉しく思います。皆さまのご意見をお寄せください。

フェリス女学院大学同窓会会報

2015年8月発行

担当: 家政科同窓会りてら

りてら 045(662)0750
Fグループ 045(812)8692
045(681)6740